

科名	役職	氏名	月		火		水		木		金	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
認知症疾患医療センター	センター長	井手 芳彦	○		○							
インテグレーション	副センター長	木下 昇		○								
ベースメーカー	副院長	木崎 嘉久		○								
	部長	中尾功二郎		○								
乳	部長	碓 秀 樹		○								○
	部長	佐々木伸文		○								
ストーマ	部長	重 政 有										
	部長	菅村 洋治										
禁煙	部長	菅村 洋治										
	部長	谷口真一郎										
ステントグラフト	部長	担当 医										
下肢静脈瘤	医員	上条 将史								○		
腹膜透析	非常勤	近藤 英明								○		
睡眠時無呼吸外来	非常勤	國崎 忠臣										
緩和医療	非常勤	中尾 治彦		○								
一般 検 診	健康増進センター	寺園 敏昭		○								○
	健康増進センター	本 多 幸		○								○
健診産婦人科	医員	永尾奈津美		○								○
	特別顧問	石丸 忠之		○								○
乳がん 検 診	担当 医			○								○

【受付時間】 8:30～11:30 13:30～16:30

【診療時間】 9:00～12:00 14:00～17:00

【予約専用番号】 すべての診療科において時間帯予約をとっております。

受診希望の方は、事前にご連絡いただきご予約をお取りください。

☞再診/紹介状のない方☞

0800-7000-888 (コールセンター)

☞紹介状のある方☞

0120-33-8293 (地域医療連携センター)

・救急部は24時間体制です。
・医師の出張等により休診する場合がございます。

土曜日は、休日診療体制とさせていただきます。



はばたき

2016 冬号 第40号[通巻第151号]
平成28年1月発行[季刊]

編集・発行/佐世保中央病院 佐世保市大和町15番地(広報委員会)
TEL 0956-33-7151 FAX 0956-33-8557 E-mail sch@hakujujukai.or.jp
社会医療法人財団 白十字会ホームページ http://www.hakujujukai.or.jp

はばたき第40号 ● もくじ

表紙:年頭挨拶(理事長)

- ①年頭挨拶(病院長)
- ②新任Dr.の医師紹介
- ②③職種別資格紹介
- ④下肢静脈瘤について
市民セミナーを開催しました
- ⑤業社紹介
- ⑤第12回「家族会」を開催しました
- ⑥⑦外来診療担当表



2016年理事長年頭あいさつ

佐世保中央病院 理事長 富永 雅也



皆様、明けましておめでとうございます。健やかに新年をお迎えになったことと思います。

団塊の世代が75歳以上となる2025年度に向けて、地域医療構想がスタートいたしました。二次医療圏である佐世保市全体で、過剰な急性期病床を減らし、不足する回復期の病床を増やそうというものです。そのためにそれぞれの病院の立ち位置を、今一度見つめ直し、地域のニーズに合わせて自主的に判断を促す誘導がされています。

旧海軍の鎮守府があった横須賀、呉などの軍港では、系列の異なる中規模の公的病院がひしめき合う急性期病床過剰都市で、佐世保市もその例外ではありません。その中で急性期病院として堂々と生き抜くため、私は理事長就任以来16年間、一貫として多職種協働の現場運営を是として参りました。当時は雑務に追われ孤軍奮闘する医師の姿がこちらこちらで見られたからです。

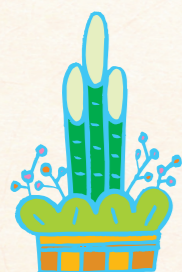
そこで、法人内認定看護師を制定しました。それぞれの現場で患者さんへの助言や指導を行い、患者さんが直面している病気を理解し、克服するための大きな助けとなって頂いて参りました。

膨大な量の書類書きや診療補助のための医療秘書さんの活躍は医師の診療環境を大いに改善してくれました。

そして今、病棟には管理栄養士が配属され、栄養処方提案や栄養学的評価をしてもらえる時代になりました。各種セラピストは超急性期のベッドサイドに求められるリハビリを提供してくれています。そしていよいよ薬剤師さんの病棟配置も始まります。

多職種協働の真価は、お互いプロとしての存在価値を水平関係で尊重し合って初めて発揮されるものです。病棟でも外来でもこの協働体制、アライアンス関係を完成させつつある佐世保中央病院が、市民の支持を得、頼りにされる病院として年々その評価を上げてきた事実は、私にはごく当然の結果と思えます。

地域医療を支援する病院として、病院の立ち位置を職員ひとり一人が見つめ直すとき、急性期病床減らしのセレクションに打ち勝つ我々のチームワークを誇りに思うと共に、より高い患者さんの満足度に至るために、まだどこが足りないのかをセレクションを楽しみながら活動する充実した一年になることを祈念いたしております。さらに素晴らしい中央病院になるよう、皆様にとっても素敵な一年となるよう手を取り合って参りましょう。今年もよろしくお願い致します。



2016年病院長年頭あいさつ

佐世保中央病院 病院長 碓 秀樹



皆様、明けましておめでとうございます。

日頃の、佐世保中央病院に対する皆様のご理解、ご支援に対し
心から御礼申し上げます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今後の地域での医療、介護のあり方として、「**地域包括ケアシステム**」という言葉が耳にされたことのある方もいらっしゃると思います。日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行し、65歳以上の人口は、現在3000万人を超えており(国民の約4人に1人)、今後もさらに増加し続けることが予想されています。このような状況の中、団塊の世代(約800万人)が75歳以上となる2025年(平成37年)以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。その2025年を目途に、重度な要介護状態となっても**“住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続ける”**ことができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築の実現が目指されます。その実現のためには、地域のそれぞれの病院、診療所の役割分担を明確にし、介護施設も含めたより強固な連携が最も重要だと思われま。すなわち救急医療、手術や専門医療など高度医療が必要な際は急性期病院で治療を受け、その後リハビリなどの治療が必要な際は回復期リハビリ病院などを経由し、自宅退院を目指す。退院後は、地域の連携病院やかかりつけ診療所と連携を取り、必要な際は訪問介護・看護やデイサービスなどのサービスを最大限利用し、住み慣れたご自宅での生活を継続する。体調が悪くなり入院が必要な際は、かかりつけ医からいつでも急性期の病院に連絡していただく。一つの病院だけで医療が完結することは不可能で、地域のあらゆる分野が密に協力し連携しあって、はじめてこの「**地域包括ケアシステム**」は成功するものだと思います。

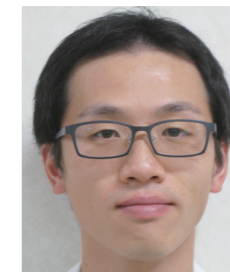
佐世保中央病院は、これからも地域の急性期病院として、**①救急医療 ②がん治療 ③各種専門医療 ④在宅医療(地域医療連携の推進) ⑤予防医学** に力を注いでまいります。

今後急性期病院は、国の方針で在院日数(入院期間)の制限がさらに厳しくなり、より早期の退院を目指すことがノルマとなってきます。その慌ただししい中にも、医療の安全と質の向上は元より、可能なかぎり優しい医療を提供できるように全職員一丸となって努力していきたいと思っております。今後も変わらないご支援をお願いいたします。

2016年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。



新任Dr.の紹介



かみじょう まさふみ
上条 将史Dr.

- ① 腎臓内科(常勤)
- ② 産業医科大学
- ③ 平成22年卒
- ④ 長崎大学

① 祖父が医師であり憧れていました。腎臓の奥深さに興味を持ちました。
 ② バレーボール・ジョギング
 ③ 精一杯頑張ります。
 ④ なんでも気兼ねなくご相談ください。
地域医療機関の先生方に向けて、ひと言
 腎機能低下、検尿異常などの症状がございましたらご相談頂ければ幸いです。何卒よろしくお願いいたします。

- ① 診療科
- ② 出身大学
- ③ 卒業年
- ④ 出身医局

- ① 医師を志したきっかけを教えてください。また、この科を選んだのはなぜですか？
- ② 趣味、または特技を教えてください。
- ③ 自己PRをお願いします。
- ④ 最後に患者様へ何か一言お願い致します。

職種別資格紹介

施設課 資格紹介

施設課 吉田 哲朗

施設課は、電球交換のような単純な作業もしておりますが、それぞれが専門技術の資格を持って仕事をしているのをご存知でしょうか？

佐世保中央病院は、施設内の管理に対して、法的に対応する義務があります。それは、消防・防災、圧力容器(オートクレーブ、貯湯槽、液化酸素タンク)、重油タンク、エネルギー、電気設備などがあげられます。

各設備を取り扱う上で、知識・技術が必要であり、専門的な資格がなければ職務を遂行できない部署です。

その他、「認定ホスピタルエンジニア」という資格があります。

医療・福祉施設の電気・空調等の設備は患者の生命や医療従事者の安全に直結しています。その特徴は、下記の通りです。

- ① 他の施設等では見られない特殊な設備(医療ガスなど)であること
- ② 生命に直結する設備(手術室のアイソレーションなど)が多いこと
- ③ 高度な知識・運用技術が必要とされる設備があること
- ④ 他の施設等よりも高い品質(温度調整など)が求められる設備があること
- ⑤ 24時間365日の不休の運用および管理が必要であること

これらの設備を、常に安全・確実に運用・管理するプロフェッショナルが認定ホスピタルエンジニアです。現在、施設課では医療・福祉施設の総合的な設備管理に特化した認定ホスピタルエンジニアを目指しているところです。



消防・防災
防火管理者
防災管理者
消防設備士
防火対象物点検資格者
危険物取扱者
防災士
自衛消防業務講習
普通救命講習 I

空調・電気・衛生・熱源
ボイラー技士
高圧ガス製造保安責任者
電気工事士
土木施工管理技士
管工事施工管理技士
配管技能士
冷凍空調和機器施工技能士
給水装置工事主任技術者
下水道排水設備工事責任技術者
エネルギー管理講習

建築物
建築設備検査資格者
特殊建築物等調査資格者

医療福祉施設設備管理
認定ホスピタルエンジニア

職種別資格紹介

保健師(Public Health Nurse)

保健師は保健師助産師看護師法において「厚生労働大臣の免許をうけて、保健師の名称を用いて保健指導に従事することを業とする者」と定められており、保健師国家試験に合格して得られる国家資格を有しています。

また、平成18年に保健師助産師看護師法が改正され、保健師になるには看護師と保健師両方の免許を有することが義務付けられるようになり、高い知識が求められるようになりました。

健診支援課 中村 恵美



保健師の主な仕事内容

保健師とは、主に「予防」に重点を置き健康管理を行う専門職です。乳幼児や妊婦、成人、高齢者障害者など幅広い世代を対象とし、保健・医療・福祉の橋渡しの役割が期待されています。佐世保中央病院健康増進センターで勤務する保健師は、事業所で働く労働者の健康管理を担っています。健康診断での健康相談や特定保健指導の実施が主な業務となり、生活習慣の改善や見直しのお手伝いをさせていただいています。健康相談は人間ドック受診者や、労働安全衛生法に関連する健診を受けられた方に実施しており、健診の結果に応じて、生活習慣を改善するための手段をアドバイスしたり、現在悩んでいる健康上の問題を一緒に考え、解決に向けた取り組みを行っています。具体的には、運動が不足している方へ、どういった運動がその方にとって最も適しているか、生活スタイルや時間的余裕、本人のモチベーション、好みにあわせた運動の方法を提案しています。また、同時に特定保健指導も実施しています。40歳以上75歳未満の方を対象としてメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防の為に保健指導の事です。改善のための計画立案を行い、継続的に支援を行なったところで評価も行います。この、特定保健指導の制度により現在の保健指導は、情報を提供するだけでなく、継続的に支援をしていく保健指導が求められるようになりました。健康増進センターの保健師はこの特定保健指導の実施も担っており、職域や地域の方の保健指導を日々実施しています。



保健師として働いて

看護師として働いていた時には、病気で苦しんでいる方々を多く見ており、こうなる前に治療を始めればもっと違う対処ができたかもしれない、病気への知識があれば予防ができたかもしれないと感じていました。保健師の仕事は、そういった苦痛や苦悩を取り除けるよう働きかける機会があり、辛い思いをせず一生を終える手助けができる職業だと感じています。ライフステージのすべてに携わる保健師が出来ることは無限にあるとも感じています。多くの方の人生の手助けができる保健師になりたいです。

下肢静脈瘤について 市民セミナーを開催しました

心臓血管外科 中路 俊

平成27年9月20日(日)、アルカスSASEBO中ホールにおきまして、下肢静脈瘤について市民セミナー&健康相談会を開催しました。

下肢静脈瘤とは下肢(足)の表面を走る血管(静脈)が蛇行したり、瘤をつくる病気です。命に関わることはめったにありませんが、足がむくんだり、だるさを感じたり、寝ている時にこむら返りを起こしたりする症状で悩んでいる方が多いと言われます。

下肢静脈瘤をテーマとして市民セミナーを開催するのは平成25年に続き2回目となりましたが、初回を上回る339人の皆さんにご参加いただきました。

セミナーでは、当院の説明支援ナース・長井友美看護師が「下肢静脈瘤～日常生活の注意点と予防について～」、次に小生が「下肢静脈瘤の話～足がむくんでいたり、血管がポコポコ浮き出ていませんか?～」と題して下肢静脈瘤の知識と日常管理、当院で行っている治療を中心に講演を行いました。佐世保市内にお住いの市民の方が多く、当院で行っている治療が皆さんにうまく伝わるように努めました。

また会場ホール前のロビーでは、外来看護師さんによる健康相談会が行われ、前回同様に足の症状について相談を希望する皆さんで大盛況でした。

当院では平成25年に県北医療圏で初めて下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術を開始しました。平成27年7月にレーザー治療装置を新型に更新し、以前より痛みが少ない手術を行うことができるようになりました。病状に応じて適切な治療を行うために、お一人ずつに十分な時間をかけて診察を行う必要があります。現在も下肢静脈瘤専門外来への受診を希望する患者さんが多く、診察までにしばらく待つて頂くことがありますが、まずはお気軽にお問合せください。



(中路医師による講演)



(長井看護師による講演)



(下肢静脈瘤治療市民セミナー)



(看護師による健康相談会の様子)

業者紹介

ニチイ学館

平成15年よりメディカルクラークとして導入され、今年で14年目を迎えました。
現在11の診療科窓口計17名で業務をしており、各科窓口における受付や検査室へのご案内・電話対応・基本票の準備などが主な仕事です。

体調に不安を感じて来院される患者様の苦痛や負担を少しでも軽減できるよう、迅速で誠実な対応を心がけております。

今後とも、患者様と医師・看護師をはじめとする医療スタッフとの間を繋ぐ役割として、お役に立てるよう精一杯努力していきたいと思っております。



第12回「家族会」を5階ラウンジで開催しました

佐世保中央病院では大切な家族を亡くされたご遺族に向けて緩和ケアの一環として「家族会」を開催しています。
ご遺族の気持ちを察し少しでもお力添えできないかと考え始めたのがきっかけになります。
毎年10月頃に開催を予定しておりますので、ご希望される方は是非ご参加ください。

～家族より～

- 「妻は、最期の10日間自宅に帰り、曾孫を抱く事が出来た。」
- 「現代人は忙しく、心から泣ける場がないと感じる。」
- 「気楽に立ち寄る場所があればいいと思う。」
- 「周りと話すことも大切ではないか。」
- 「夜が特に寂しい、仏壇に話しかけている。」
- 「過去帳に母の名前を入れたら、家族が揃った気がした。」
- 「魂は生きている」と先生が言われたが、そのとおりと思う。」等、貴重なお話を聴く事ができました。



～大切な方を亡くしたあなたへ～

- じっと話を聴いてくれる人と一語にいる時間や、一人になる時間が必要です。
- 失ってしまったかけがえのないものへの思いを、じっくり感じたり、理解したりするためには、多くの時間が必要になります。



社会医療法人財団白十字会
緩和医療検討会・緩和ケアチーム

佐世保中央病院 外来診療担当表 1

◎は新患のみ、○は新患・再診、□は再診のみ

科名	氏名	役職	氏名	氏名	月		火		水		木		金	
					午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	呼吸器	副部長 副島 佳文	◎											
	内分泌	部長 小林 舜		○										
		非常勤 大財 茂												
	骨代謝	〃 藤山 薫												
		〃 安部 恵代												
	腎臓内科	非常勤 藤山 薫												
		医員 上条 和歌												
	神経内科	副部長 竹尾 剛												
		非常勤 龍文 幸孝												
	リウマチ膠原病センター	臨床研修・総括部長 植木 寺田												
センター長 荒牧 俊幸														
糖尿病センター	副部長 辻 創介													
	〃 一瀬 邦弘													
消化器内視鏡センター	部長 岩本 直樹													
	〃 梅田 雅孝													
人工透析センター	センター長 松本 一成													
	〃 森 美美													
放射線科	部長 二里 哲朗													
	〃 重野里代子													
皮膚科	部長 豊永 雅也													
	〃 木下 昇													
小児科	部長 小田 英俊													
	〃 松崎 寿久													
泌尿器科	〃 加茂 泰広													
	〃 時村 郁子													
耳鼻咽喉科	部長 岩津 伸一													
	〃 草場麻里子													
放射線科	部長 竹島 史直													
	〃 上条 和歌													
整形外科	部長 山田 克彦													
	〃 大塚 幹													
脳神経外科	部長 徳永 亨介													
	〃 南 祐三													
心臓血管外科	部長 上松 聖典													
	〃 大里 康雄													
整形外科	部長 梅木 寛													
	〃 平尾 幸													
脳神経外科	部長 堀上 謙作													
	〃 末吉 真													
皮膚科	部長 山口 貴久													
	〃 山田 克彦													
泌尿器科	部長 大塚 幹													
	〃 徳永 亨介													
小児科	部長 南 祐三													
	〃 上松 聖典													
放射線科	部長 大里 康雄													
	〃 梅木 寛													
放射線科	部長 平尾 幸													
	〃 堀上 謙作													
放射線科	部長 末吉 真													
	〃 山崎 拓也													